

令和3年度府中市環境審議会
第4回地球温暖化対策部会報告

資料6

1 日時 令和4年3月23日(水) 午後6時00分～8時00分

2 会場 府中市役所北庁舎3階第3会議室

3

(1) 出席委員

澤部会長、榎本委員、河村委員、成瀬委員、平崎委員、表委員、安部委員、嶋原委員

(2) 欠席委員

小西委員、山村委員

4 議題

(1) 温室効果ガスの削減目標値の設定について

(2) 次期環境基本計画 基本方針1の施策体系および構成(案)について

5 議事内容

(1) 温室効果ガスの削減目標値の設定について

ア 内容

国が示す温室効果ガスの削減目標や取組を踏まえて、府中市の温室効果ガス削減目標について審議を行った。

イ 主なご意見と事務局対応

	主なご意見	事務局対応
1	運輸部門の温室効果ガス排出量の把握方法について、市内を通過した自動車はどのように把握しているのか。また、製造部門についても、市内で製造された製品は物流で市外に移動し、市外で廃棄されているが按分方法など環境省の算定マニュアルを見ても難しい。	みどり東京・温暖化防止プロジェクトが提供しているデータに基づき現状値を算出しています。東京都全体の温室効果ガスから、運輸部門は交通量調査、産業部門は製造業品出荷額で按分し、算出されています。 市外での製品の廃棄に基づく温室効果ガスについては、府中市分として算入されていません。
2	2011年の東日本大震災により2013年は最も電力排出係数が高い。資料を見ると国の対策を進めればすんなりと温室効果ガス排出量48%削減が達成できそうなイメージを持つてしまうが、今後の具体的な事業や施策を話し合う上で楽観的にならないか懸念される。やはり電力排出係数の低減によるところが大きいため、民生部門をいかに減らせるかが大事。	本市においては、エコハウス設備設置補助金の来年度予算額を増額させるなど、対応を図っています。また、省エネは我慢の取組にならないように進めてまいります。

3	2013 年度の排出係数についての指摘は大切な視点である。家庭の努力が見えないことについて、これまでの家庭の努力が見えるように、指標などでこれまでの推移も載せるようにしてほしい。	次期環境基本計画において、エネルギー消費量のこれまでの推移を記載するとともに、目標値についても設定してまいりたいと考えております。
4	エネルギー消費量の推移も、省エネルギーの取組の効果として、併記するとよい。	同上
5	表 11 家庭の省エネルギー行動による削減効果が、0.1%しかないのは少ないと感じた。	当該数値については、2013 年度比で 0.1%の削減ではなく、2030 年の削減見込量全体に占める内数となります。削減効果の根拠としている資料（削減メニュー）は、第一段階として省エネルギー機器などの導入があり、その上で余地に省エネルギー行動が積み上げられているため、どうしても少なく算出されてしまっています。

(2) 次期環境基本計画 基本方針 1 の施策体系および構成（案）について

ア 内容

第 3 回部会でご議論いただいた内容を反映した基本施策について、内容をご確認いただき、ご審議いただいた

イ 主なご意見と事務局対応

	主なご意見	事務局対応
1	最終的な施策体系図の表の見せ方のイメージが湧かない。意見が反映されているのか。	前回の議論を踏まえて、変更しております。
2	家庭部門において 14%削減するということは、具体的にどれくらいの努力が必要か記載してほしい。	どのような省エネ行動で、どれくらいの温室効果ガス削減効果があるかや、1 世帯あたりどれくらい減らすのかなど、イメージ湧きやすいように計画に記載してまいります。
3	暖房何度に設定、シャワー短時間にするなどしか記載できないのだろうとも推測するが、「具体的にどういう努力、行動をする」という記載がないと絵に描いた餅で終わってしまう。	令和 4 年度以降に、市民、事業者に協力していただきたい事を具体的にまとめた環境行動指針を作成し、ご審議いただく予定です。

4	市民・事業者の取組について、具体的に対象を絞って記載出来れば、より効果的になるのではないか。	同上
5	「自立分散型エネルギー」という語句は難しいが、今後脱炭素社会や気候変動に強いまちを目指す上では外せない語句でもある。地域防災計画では、丸1ページを割いて「自立分散型エネルギー」について説明していた。参考にしてほしい。	次期環境基本計画の記載を行う上で、参考にさせていただきます。
6	部署によって構成も異なるだろうが、分かりやすい他計画を参考にすることはよい。	市民が手に取って分かりやすい計画となるよう、市内、市外問わず様々な行政計画を参考とさせていただきます。

以上